ASIAGRAPH2013 参加報告 コミック版
東京大学　櫻井 翔
櫻井です
今回はアジアグラフ2013について報告をマンガで行うことになりました
報告は研究室の家計簿マンガ描いてます
VR! シリーズ
ハワイと言えば青い海白い雲というイメージが強いですが会場は雄大な自然を有するハワイ島ヒロ
Hawai'i
ヒロ
全セッション終了後、ハワイ大学ヒロ校とすばる望遠鏡の見学に行ってきました
初日午後ハワイ大学内にある国立天文台ハワイ観測所にてすばる望遠鏡についての講義と施設見学
Subaru Telescope
精密工学と重工業は両立しないと言われていますが、すばるはまさしく精密重工業なんです
国立天文台ハワイ観測所
林 左絵子　准教授
エントランスホールには1/50スケールのすばる望遠鏡の可動式模型と山頂付近に設置されている世界各国の観測施設のジオラマ
すばる望遠鏡の鏡は直径8M超で世界最大、かつ世界一平らな鏡なのだとか
これ実は横型として凄いですよ
現在ハワイでは ハワイ語を話せない人が増えており、言葉を残そうという流れが復活しているのだとか
その後、ハワイ大学内を視察
ハワイ語学習のための新設の建物（工事中）
ハワイ語以外禁止の
観測のための条件
林先生
・天（自然条件）
・地（社会条件）
・人（実はこれが大事）
観測には実は3つ目が一番大事なんです！
必要条件を満たされる
そしてプラネタリウム内トイショップにて学生より盛り上がる先生方
見学終了後は、映画業界の第一線で活躍されているハワイ大学のジョン・アンドリュー・バートン Jr 先生によるキーノート
そしてお親会では観測先生による「ハワイの鉄道」に関するプレゼンが
これ研究室で一度練習してみましてね、その時に線路の幅が日本と海外だと規格が違うって話を4年生にしたんですよ
そしたらですね、「知らなかったー」って学生に言われちゃってさ
え、知りませんの？
2日目すばる望遠鏡@マウナケア見学
すばる望遠鏡は標高4000M超に設置されており、高山病防止のために標高2800M付近のビジターセンターで1時間滞在してから行くことになっている
既に頭痛い…
何故か大福餅が設置されていた
直径8M超の鏡は間近で見ると圧巻の大きさ
ここが望遠鏡の鏡の真下です
でかい！
「精密重工業」と言われている意味がよくわかります
昼夜間の温度差による大気の変化によって撮影に影響が出ないように観測所内の空気はほぼ0℃に保たれているそう（内部はまるで冷蔵庫）
また、同じ理由で、望遠鏡が開くのは夜間だけとのこと
望遠鏡開くとこ見たかったなぁ
ですね
一方で、マウナケア山は「聖なる山」であり、ハワイ側との協定で、設置できる施設は最大で13個までと決まっているとのこと
山頂付近には世界各国の天文施設計13個が点在
天気が穏やかな日が多く空気が綺麗なマウナケア山頂付近は天文観測施設の設置にうってつけの場所なのだそう
夜はハワイ大学に戻り全天周プラネタリウムにて河口先生のトークと4K映像による作品上映が
4Kの全天周スクリーンで
サイケデリック感
3日目にはハワイ火山国立公園のツアーがありましたが私は帰国日の関係で残念ながら不参加でした
次回はアジアグラフフォーラムが2013年秋に鹿児島にて、そして来年度のアジアグラフは2014年春にバリ島で開催予定とのこと
よろしく！